

# 健康・スポーツ科学概論 (スポーツコーチングの基礎)

## 第12回

荒井弘和

法政大学文学部 教授

## 5-3 障害のある人のコーチング

### (1) 障害について

- a. 障害をひとくくりに捉えない
- b. 障害のある人はできないことがあるができない人ではない

### (2) アダプテッドについて

- a. アダプテッドとは
- b. その人を知る
- c. その人を知るための方法
- d. その人に合わせて工夫をするアダプテッドの方法
- e. アダプテッドの落とし穴

# パラリンピックとは？

## パラリンピック

障害のあるトップアスリートが出場できる

世界最高峰の国際競技大会 (日本パラリンピック委員会, 2016)

- オリとパラ融合のメリット：

スポーツの本質を再認識させることができる

- オリとパラ融合のデメリット：

用具に関するルールがある (レギュレーション)

クラス分けが細かい

## 5-3 障害のある人のコーチング

- 障害のある人を指導するグッドコーチの特性
  - ① 障害をネガティブな面に偏って捉えていない
  - ② アダプテッドに関する知識や技術を持っていた
  - ③ インクルーシブのあり方を模索していた



# (1) 障害について

## a. 障害をひとくくりに捉えない



- 「障害とは何か？」 障害の定義は難しい
- Disability, Disorder, Disturbance, Impairment, Handicap...
- 障害者基本法における「障害者」の定義：  
身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む) その他の心身の機能の障害がある者であって、障害及び社会的障壁(事物、制度、慣行、観念等)により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者をいう

# 日本の障がい者人口は？(令和元年版 障害者白書の引用データより)

障がい者手帳

日本の障がい者人口  
963.5万人

障害者手帳が発行  
されている人数

身体障害者 436万人  
(視覚、聴覚、内部、肢体)

精神障害者 419.3万人

知的障害者 108.2万人

障害、障碍、障がい、しうがい  
障害者、障害のある人、障害を持つ人

# (1) 障害について

## a. 障害をひとくくりに捉えない (ICFモデル)

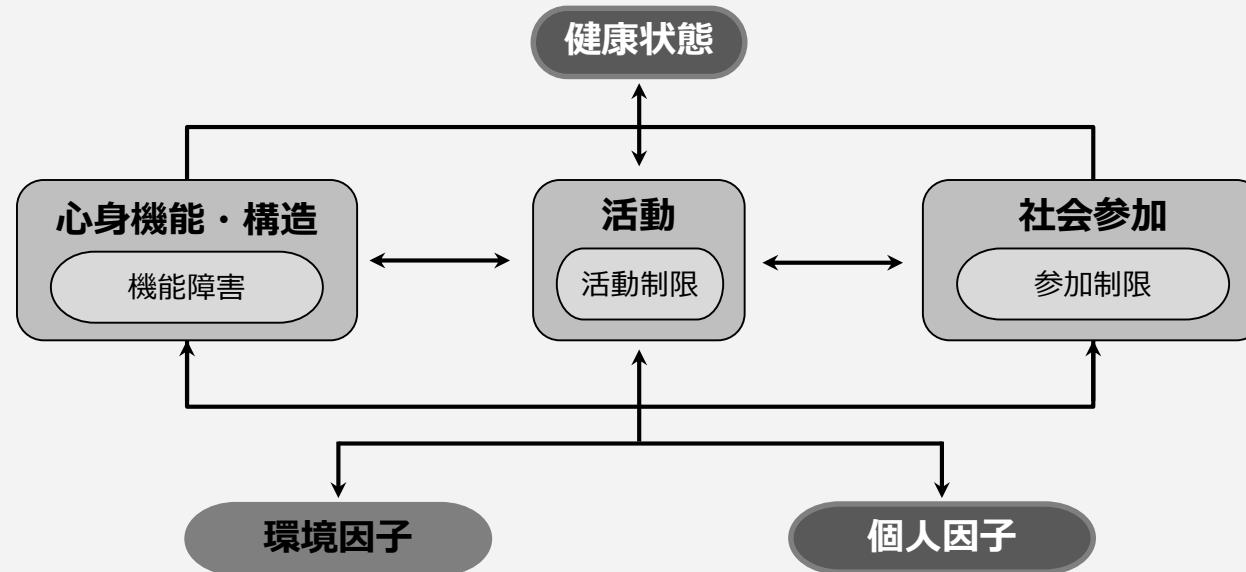


図5-6 WHOのICFモデル

個人の生活機能の状態から説明した障害定義

# (1) 障害について

b. 障害のある人はできないことがあるができる人ではない

- 障害のある人 ≠ できない人
- できないことがある人 = できることがある人

右下肢大腿切斷→アンプティーサッカー

(日本アンプティーサッカー協会HPより)

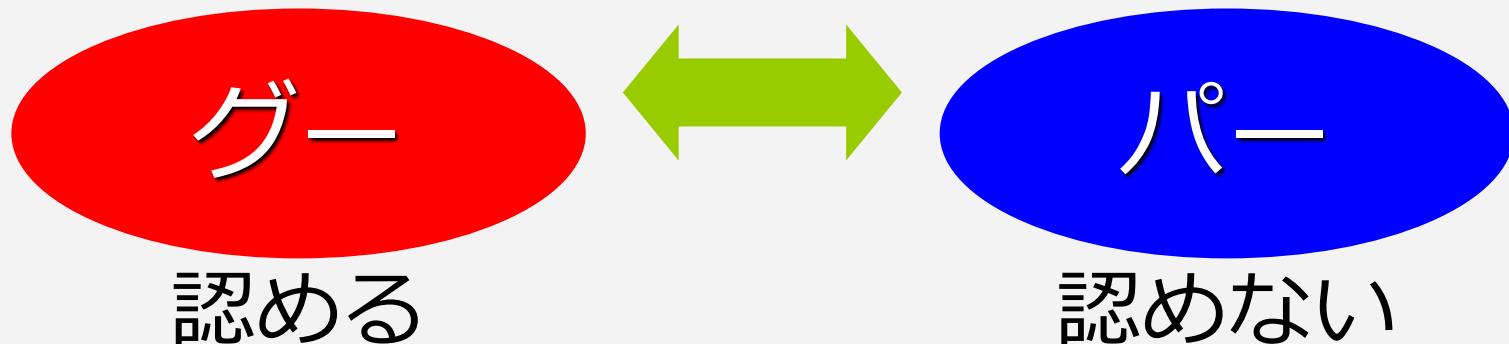
弱視→ブラインドサッカー



- グットマン博士 (パラリンピックの父)  
「残っているもの (残存機能) を生かせ」
- できる可能性に注意を向けよう

# パラリンピアンのオリ出場

- あなたはある競技の国際団体の会長です。
- パラで、オリの記録を超えることがあります。
- 「パラだけでなく、オリにも出場したい！」
- あなたは、パラリンピアンのオリ出場を認めますか？



## (2) アダプティッドについて

### a. アダプティッドとは

- 障害者スポーツ =

「アダプティッドスポーツ」「パラスポーツ」



- 「アダプティッド」の意味とは？

ルールや用具、身体活動の方法を

個人の状況に応じて作り変えていく

(日本電動車椅子サッカー協会HPより)



「調節」「変更」「修正」

- 「足が不自由ですが、サッカーをしたいんです」

→ 「どうしたら、この人はサッカーができるか？」

→ 電動車椅子サッカー、ハンドサッカー

## (2) アダプテッドについて

- b. その人を知る
- c. その人を知るための方法

- まず、目の前にいる「その人を知る」
- 年齢、体格、運動能力、興味、社会性、短所、長所...
- 客観的情報レベル：

聞き取り、アンケート

- 相互作用による情報レベル：

コミュニケーションを取りながら



## (2) アダプテッドについて

### d. その人に合わせて工夫をするアダプテッドの方法

- **用具のレベル :**  
道具・義肢・車いすに、加工・調整・追加をする
- **集団・仲間のレベル :**  
支援者・仲間を加える、チーム編成を調整する
- **フィールドのレベル :**  
場所・建物を加工・調整する
- **システムのレベル :**  
上記レベルを越え、ルールを追加・変更・修正する



# スペシャルオリンピックスの紹介

- スペシャルオリンピックス (Special Olympics: SO)  
知的障害のある人たちにスポーツのトレーニングと競技会を提供する国際的な組織
  - 1) アスリート (知的障害のある人)
  - 2) ファミリー (アスリートの家族)
  - 3) ボランティア (コーチも含む)
  - 4) パートナー (ユニファイドスポーツと一緒にを行う人)
- SOでは、全員が参加者です
- SOでは、アスリートファーストです

# スペシャルオリンピックスの現場にて



# 競技会の風景



# アスリート同士のゲーム



# 開会宣言や選手宣誓も



# アスリート・ファミリー・ボランティア



# SOプログラムを開催しようしたら…

プログラムを開きたい  
けど、人手が足りない…

協力してくれる人が必要  
ファミリーも呼ぼう  
地域の人も呼んじゃおう

どうせ来てもらうなら  
みんな一緒に  
スポーツしては？

アスリートを入口とした  
地域への包括的な健康支援！



## (2) アダプテッドについて

### e. アダプテッドの落とし穴 (エコロジカルモデル)

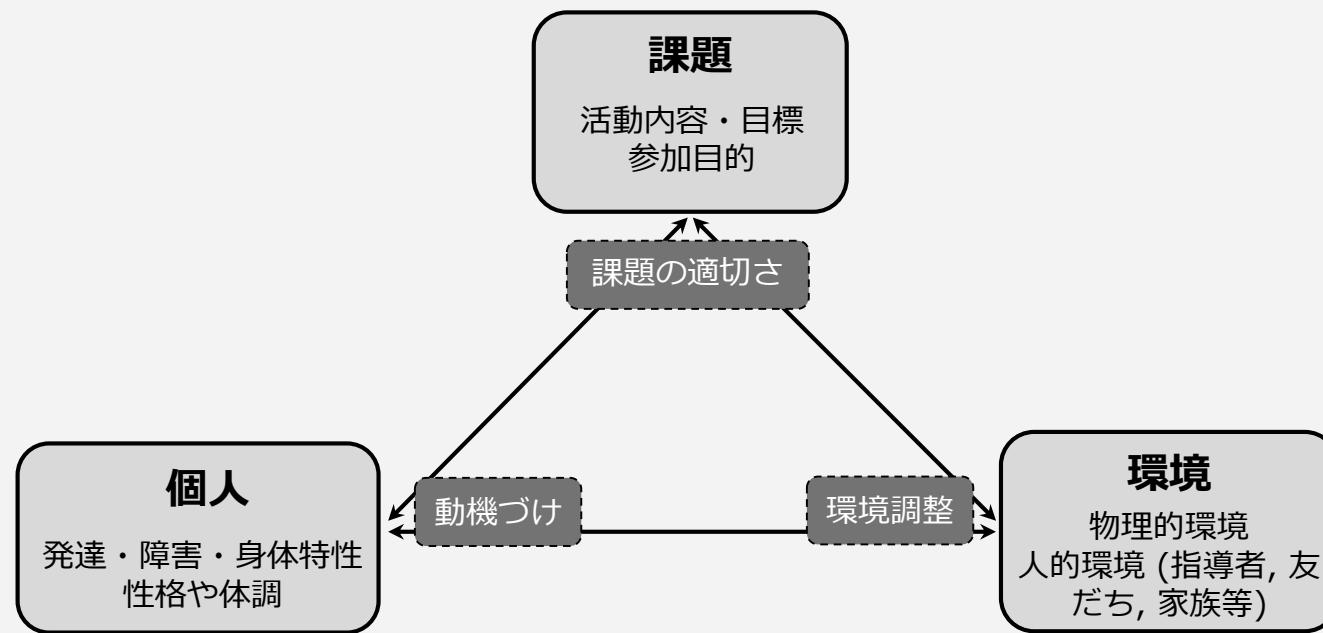


図5-8 Davis and Broadhead (2007) をもとに示したエコロジカルモデルにおけるアダプテッド (点線にくくられたものがアダプテッドの目的)

## 5-3 障害のある人のコーチング

### (3) インクルーシブ・スポーツについて

- a. ノーマライゼーションとそのための実践理論について
- b. インクルーシブ・スポーツの2つのエッセンス
- c. インクルーシブ・スポーツの現状
- d. インクルーシブ・スポーツの問題
- e. インクルーシブ・スポーツにおける今後の課題

### (4) さいごに

(3) インクルーシブ・スポーツについて  
a. ノーマライゼーションとそのための実践理論について

- インクルージョン =  
ノーマライゼーションの実践的理論
- 2006年 障害者権利条約が国連で採択  
→障害があっても差別されることなく人権を行使可能  
2014年 わが国も批准
- 人権としてのスポーツ権：スポーツ参加場面で...  
障がいのある人を除くことを避けねばならない
- インテグレーション = 健常者の集団に障害者を統合  
配慮のない統合 = ダンピング



### (3) インクルーシブ・スポーツについて

#### a. ノーマライゼーションとそのための実践理論について

- インクルージョンは、障害のある・なしではなく...  
一人ひとりに違いがあることを前提に、  
全ての人を包含して実践する理論
- 自分の力でできることもあるし (自助)  
家族や地域の人の力を借りることもある (共助)  
医療保険制度など公的制度を必要とすることも (公助)
- つまり、その置かれた状況によって...  
必要とする人が必要とされる支援を受けられる



(3) インクルーシブ・スポーツについて  
b. インクルーシブ・スポーツの2つのエッセンス

- インクルーシブ・スポーツの2つのエッセンス
- 1つは、健常者と同様に、障害のある人も、スポーツや運動する機会を保証されねばならない
- もう1つは、障害があるからという理由ではなく、指導上の困難さに応じて支援しなければならない

### (3) インクルーシブ・スポーツについて c. インクルーシブ・スポーツの現状

- 体育こそ、最もインクルーシブ・スポーツが必要

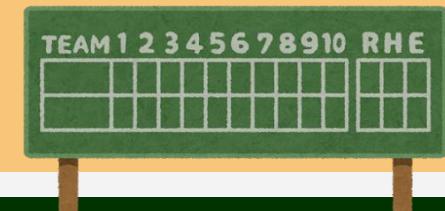


- 体育はインクルージョンしやすい

障害の有無に関わらず子どもの接触機会が多いから

活動内容やルールを工夫することで、学習できる

### (3) インクルーシブ・スポーツについて d. インクルーシブ・スポーツの問題



- 通常学級での体育における障害のある子ども  
**「見学が当たり前」「迷惑を掛けたくない」**  
スポーツの楽しさを経験できていない？
- 特別支援学校での体育における障害のある子ども  
**「汗をかくと気持ちいい」「キツいけど楽しい」**
- 教員がアダプテッドを実践できないという問題  
課題設定、評価に困難さを感じている
- アダプテッドと異なるインクルーシブを突き詰める

### (3) インクルーシブ・スポーツについて

#### e. インクルーシブ・スポーツにおける今後の課題



- いつも一緒に使う必要はない

グループ編成、道具、課題にバリエーションを

- インクルーシブ・スポーツを支えるチームづくり

専門職に丸投げせず、主たる指導者も研鑽する

- さまざまなスポーツの価値観の指導と共有

違いを生かして協力、互いを思いやるのを当たり前に

# インクルージョン・スペクトラム・モデル

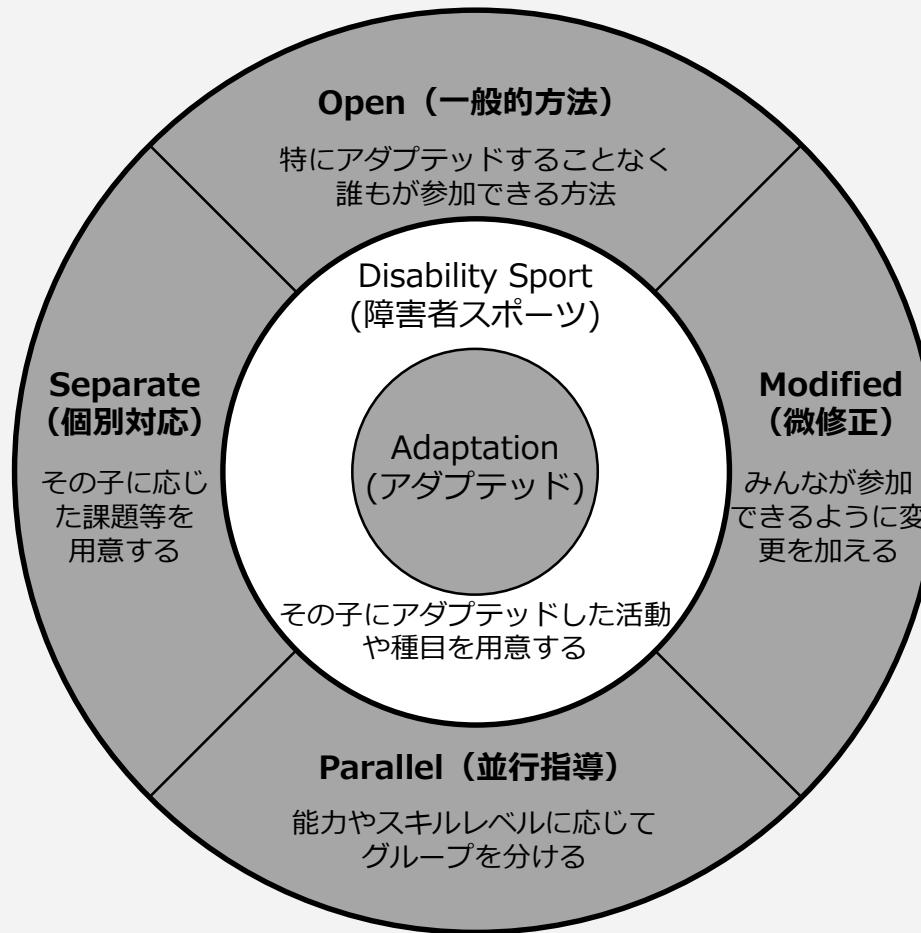


図5-9 インクルージョン・スペクトラム・モデル

注：原著ではSTEPというアダプテーションの具体的的方法を示しているため、  
詳細はThe University of Worcester (2017) を参照してほしい。

# リバースインテグレーション(大久保, 2016)

- 障がい者スポーツを、健常者も一緒に<sup>行い</sup>、

障がいの有無に関係なく楽しむという考え方



- 「インクルーシブ」ではない

- 車椅子バスケットボール、シッティングバレーボール、

卓球バー等がすでに行われている

# 「障がい者スポーツセンター」は必要か？

- スポーツセンターは、全ての人を対象としているはず
- 「何で障がい者だけのスポーツセンターがあるの？」  
…と、海外の人から聞かれことがあります
- 障がい者スポーツセンターをどう考えますか？



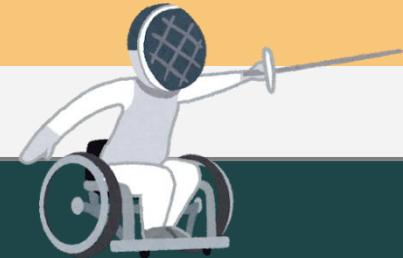
グー

あった方がよい

パー

ない方がよい

# アダプテッドスポーツの位置づけ



## 健常者の スポーツ

障がい者の  
スポーツ

